

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

5- -6

5-
-6

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	提供情報データベースの整備
	節	佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県な魅力の発信		
事業(施策)名	6 佐渡金銀山デジタルデータベース整備		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～H30	関連団体	佐渡市観光振興課
事業概要	【事業目的】 佐渡金銀山情報の発信者と利用者双方の利便性向上を図ることで、国内外への情報の拡散を図る。			
	【事業内容】 佐渡金銀山に関する情報のデジタルデータベースを整備し、当該情報の効果的な発信と利用者の利便性向上を図る。			
⑨事業計画と実績	【29年度計画】 データベースの整備にあたり、必要な資料の収集整理を行う。			
	【29年度実績】 デジタルデータベース整備に必要な鶴子銀山屏風沢絵図を購入し、資料の収集の充実を図った。			
課題・今後の取組	【課題】 データベースの充実を図るため、引き続き各種データの情報収集が必要である。 データ提供方針を検討し、利用規約等の整理を図る必要がある。 デジタルデータベースの整備を行うにあたり、課内で検討した結果、当初の想定よりデータベース化する資料数が増加し、それに伴う作業期間の延長が見込まれるため、当初事業実施期間の終期の見直しが必要である。			
	【今後の取組】 データベースの内容の充実を図り、利用規約の制定やホームページにデジタルデータのダウンロード機能や検索機能を追加するなど、利活用の促進を検討する。 事業実施期間を見直し、データベースの整備を図る。 ガイドンス施設展示室の「デジタルアーカイブ」でデータベースを公開する方法を検討する。			
事業評価	【事業の達成度】 (a ● b ● c) 計画どおり、目標を達成できたことからB評価とした。			
	【事業実施の効果】 (a ● b ● c)			
	【総合評価】 (A ● B ● C)			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。